

**FPL™ II**

Part No. PLUG: 20437-0\*\*T-\*1, RECE.:20439-0\*\*E-\*\*

**Instruction Manual**

4	S24238	June 10, 2024	E.Tanaka	M.Nakamura	T.Masunaga
3	S21136	March 25, 2021	T.Onishi	T.Masunaga	H.Ikari
2	S15417	September 10, 2015	H.I		E.K
1	S13299	July 19, 2013	H.A		E.K
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製コネクタ FPL II CONN.の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的としコネクタの挿入、抜去の手順及び注意点を記述致します。

## 【対象コネクタ名称・型番】

### ・ケーブル側コネクタ

名称: FPL II CONN. PLUG CABLE ASS'Y

品番: 20437-0\*\*T-\*1

### ・基板側コネクタ

名称: FPL II CONN. RECE

品番: 20439-0\*\*E-\*\*

## 【コネクタ各部名称】

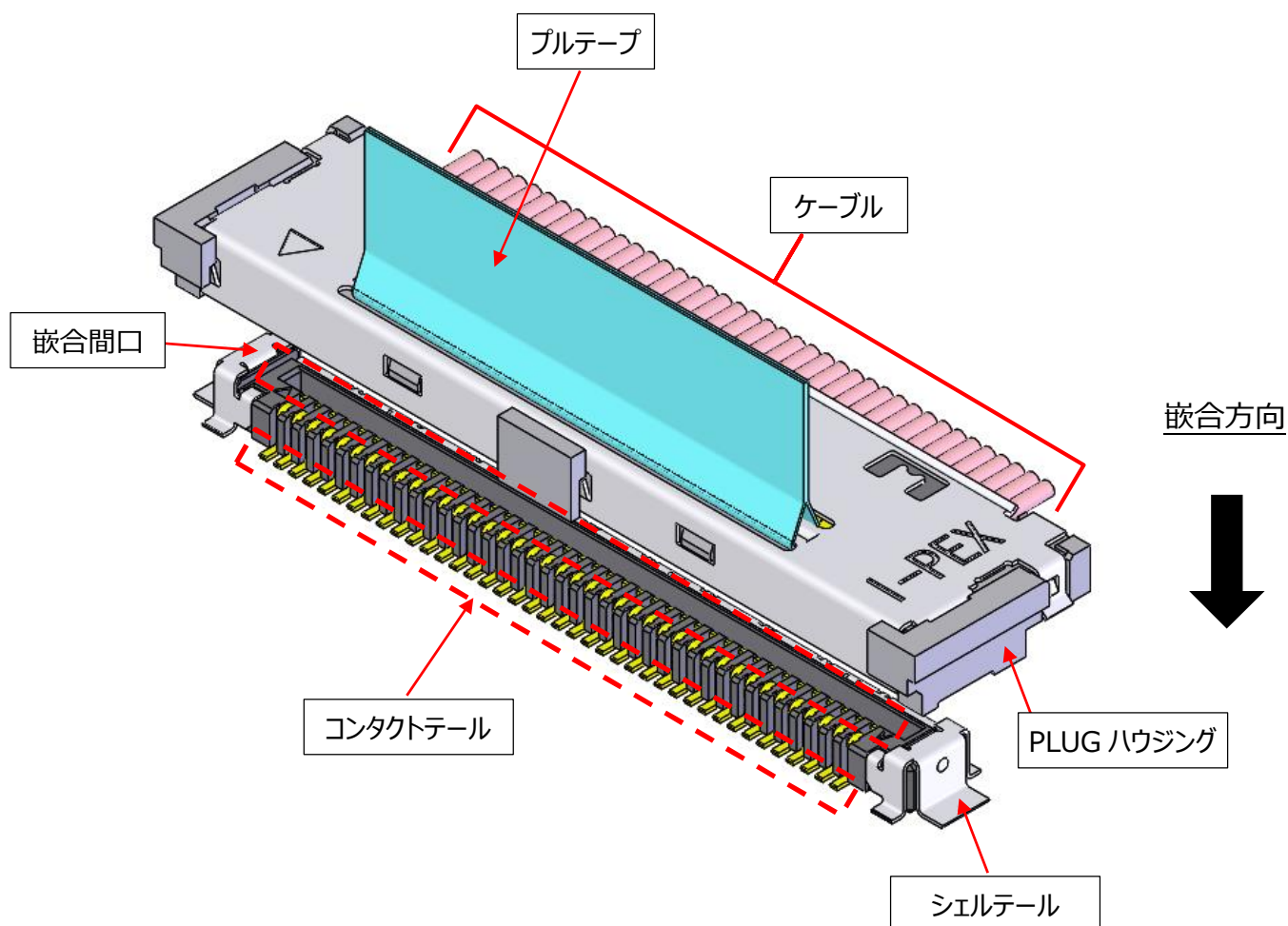


図 1

## 【コネクタ挿入手順】

- 1-1 図2の様に、ケーブルとコンタクトテールが反対方向となるようにします。  
ケーブルとコンタクトテールが同じ向きの場合、挿入出来ません。

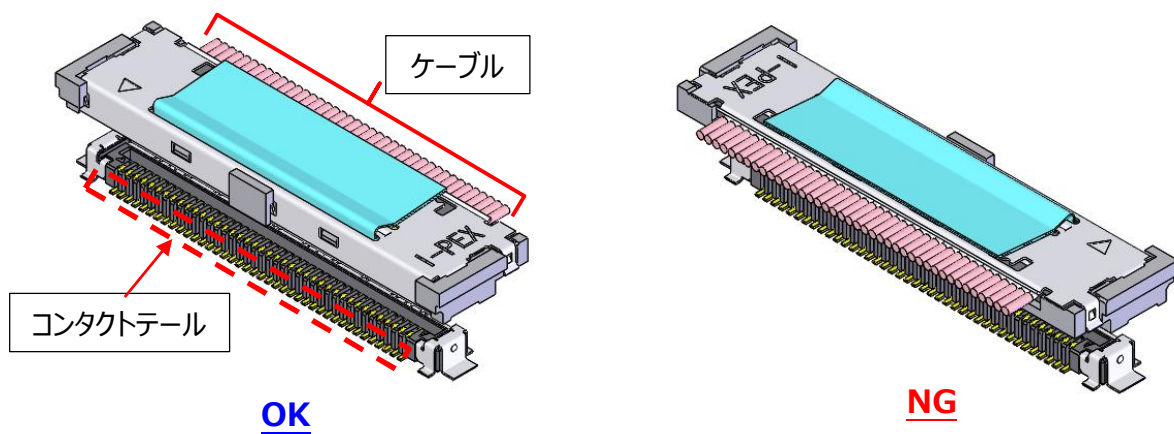


図2

- 1-2 図3の様に、ケーブル側コネクタを基板側コネクタに対し垂直にした状態で、図5の様にケーブル側コネクタのセンターを真上からクリック感が出るまで押します。  
その後、図6の様に両側を押し、片側嵌合となっていない事を確認してください。

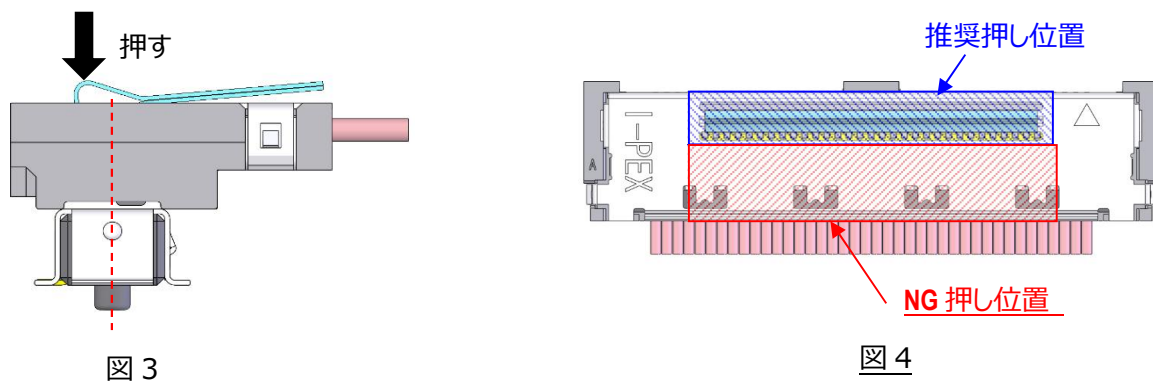


図3

図4

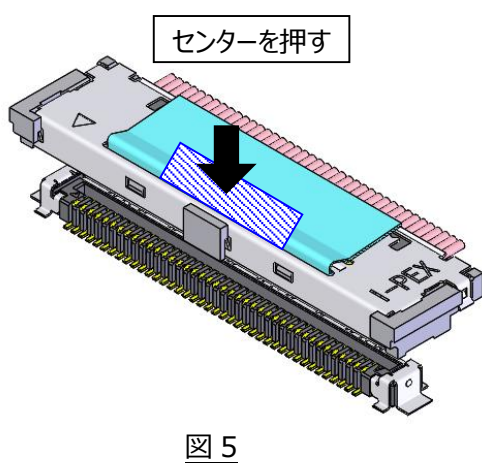


図5

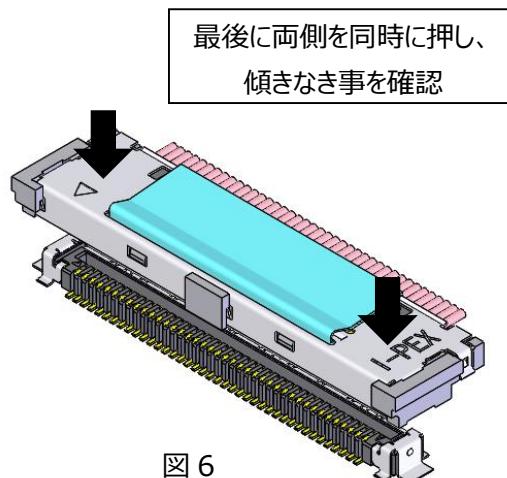


図6

<注意事項 1>

ケーブル側コネクタを基板側コネクタに仮挿入した後は、ケーブル側コネクタをまっすぐに挿入して下さい。  
 ※仮挿入は、挿入前にケーブル側コネクタの位置決め・傾きの調整の為の行為です。  
 仮挿入中は、挿入方向に対して、過度な荷重を加えないで下さい。

<注意事項 2>

ケーブル側コネクタを基板側コネクタのピッチ方向に対して、斜め挿入しないで下さい。  
 斜め挿入した場合、コネクタが破損する可能性があります。

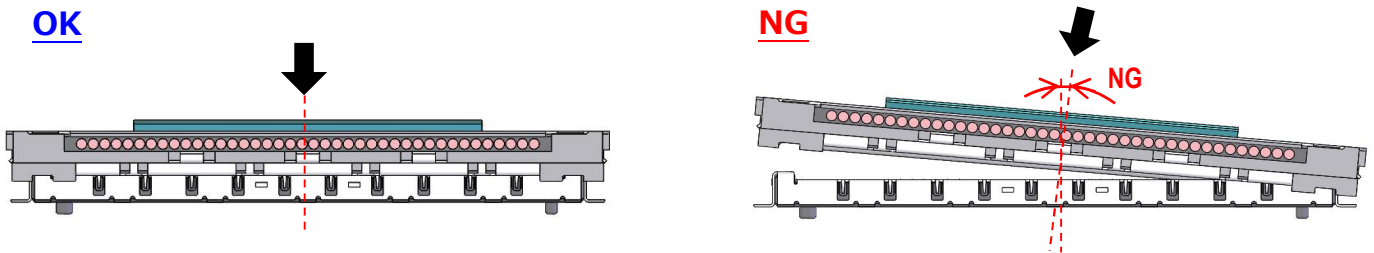


図 7

<注意事項 3>

ケーブル側コネクタを基板側コネクタの前後方向に対して、斜め挿入しないで下さい。  
 斜め挿入した場合、コネクタが破損する可能性があります。

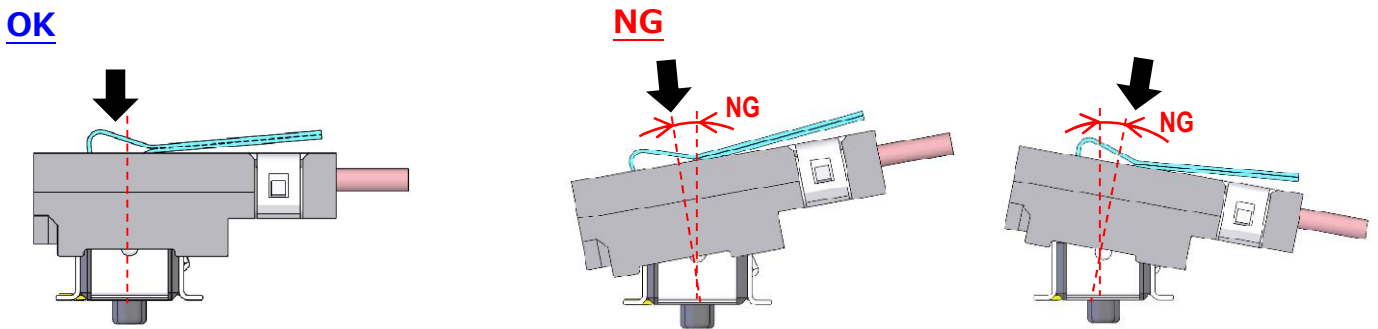


図 8

<注意事項 4>

ケーブル側コネクタを基板側コネクタのクリック感があるまで、まっすぐに挿入して下さい。  
 嵌合後、シェルテール上面から PLUG ハウジングまでの距離は、基板と平行な上で 0.15mm 以下のこと。  
 嵌合後の距離が 0.15mm より大きい場合、嵌合不良となり、導通不良になる可能性があります。

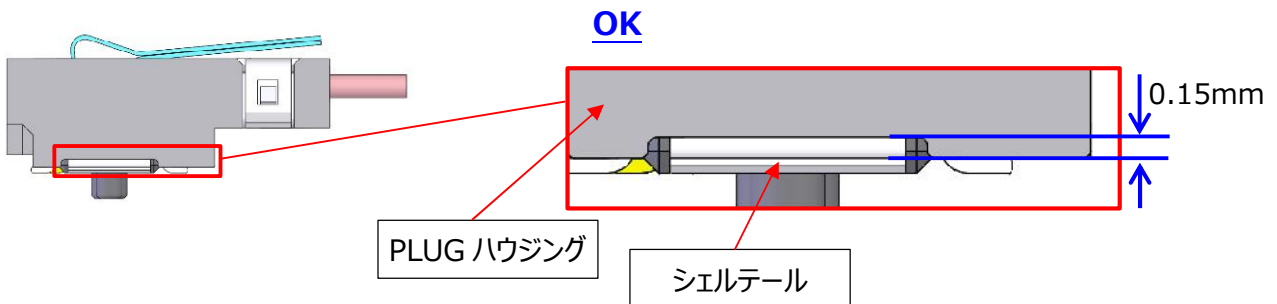


図 9

## 【コネクタ抜去手順】

2-1 図 7 の様に、プルテープを垂直に引っ張り、抜去して下さい。

**OK**

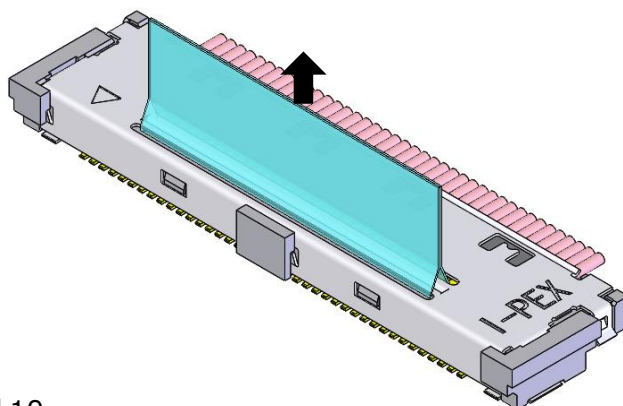
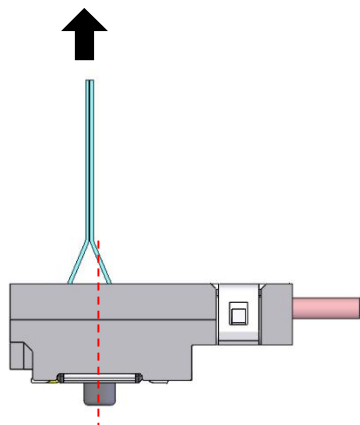


図 10

※プルテープの粘着の影響で嵌合軸よりプルテープがズれていても、プルテープを垂直に引っ張り、抜去して下さい。

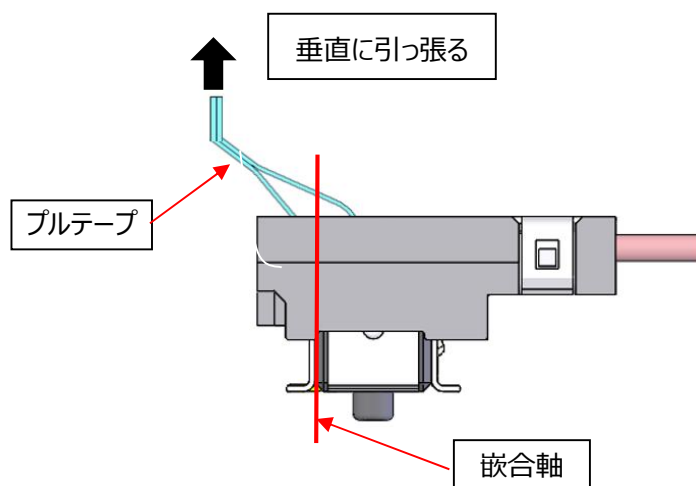


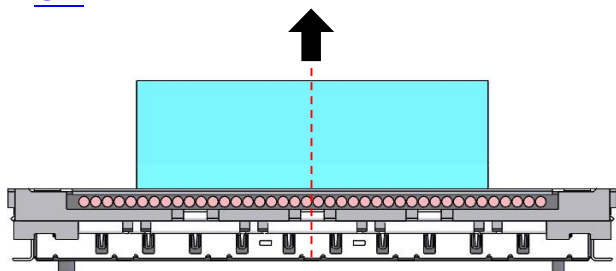
図 11

### <注意事項 5>

ケーブル側コネクタを基板側コネクタのピッチ方向に対して、斜め(ゴジリ)抜去しないで下さい。

斜め抜去した場合、コネクタが破損する可能性があります。

**OK**



**NG**

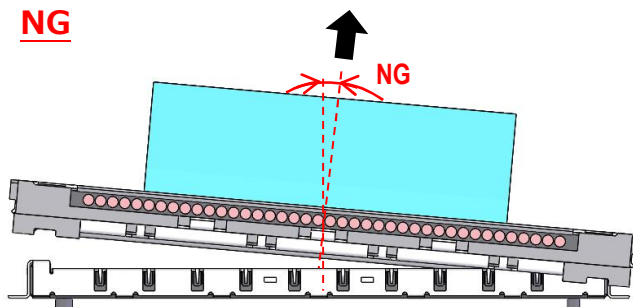


図 12

## &lt;注意事項 6&gt;

ケーブル側コネクタを基板側コネクタの前後方向に対して、斜め抜去しないで下さい。  
斜め抜去した場合、コネクタが破損する可能性があります。

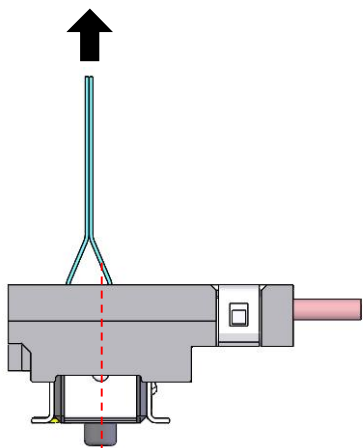
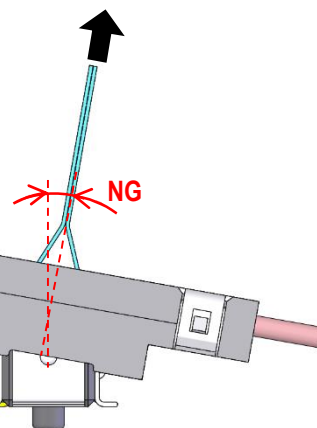
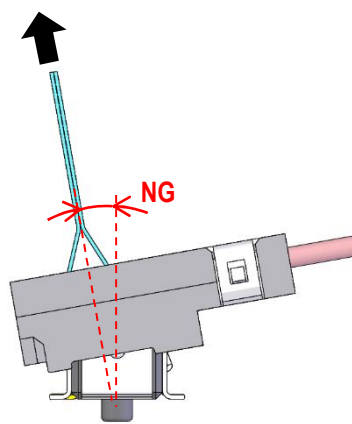
**OK****NG**

図 13